

# クラスタージャパン 2007

## ●見てある記

文部科学、経済産業両省共催の「クラスタージャパン2007」が東京・有明の東京ビッグサイトで30日まで行われている。日本全国の産学官のクラスター(集合体)の

取り組みで得られた成果を一堂に集めており、149者が出席している。会場ですす目につくのは「画像型患者ロボットの」。マネキン表面に三次元コンピュータグラフィックス(CG)の内臓を投影する映像技術で、「医学教材などに役立つ」という。参加者は不思議そうにCGを見つめていた。

# 産学官の成果一堂に

## 最先端技術から地域産品まで

「画像型患者ロボットの」場者に振る舞っていた。特に「がごめ昆布」を使ったチョコやキャラメルなどが人気で、「とろみがあつておいしい」との声があつた。十勝圏振興機構(同)でも地元産品を紹介している。

が岐阜県研究開発財団(岐阜県)が出席した。推進機構(静岡県)の浦元からは海産物を使った食品を多数展示、来

臓を投影する映像技術で、「医学教材などに役立つ」という。参加者は不思議そうにCGを見つめていた。また、函館地域産業振興財団(北海道)は、地元の最先端の光電伝送ファイバーなどを展示していた。

# 科学技術



品を展示、長いものお酢の試飲ができる。

このほか、ネットクラスター推進共同体(大阪府)では、参画している大手情報家電企業へのビジネス提案を呼びかけていたり、長野県テクノ財団(長野